

# 長崎県の一体的実施①

平成24年1月23日 事業開始

「長崎県地域共同就職支援センター」を拠点として、県とハローワークによる中高年齢層の求職者に対する就労支援を効果的・効率的に実施

県

就職・能力開発の相談



国

職業紹介・職業相談の実施等

## ① 事業内容

- ・窓口における、中高年齢層(概ね45歳以上)の者に対する就職支援セミナー、個別カウンセリング、求人情報提供、職業紹介、職業相談の実施
- ・離島や半島地域への巡回相談の実施

## ② 協定・事業計画

- ・長崎県知事と長崎労働局長の間で協定(\*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を長崎県と長崎労働局及び長崎公共職業安定所の間で策定

\* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定

## ③ 運営協議会

- ・長崎県職員、長崎労働局職員、労使団体代表者をメンバーとする運営協議会を設置

窓口相談や離島・半島地域への巡回相談において、県とハローワークによる就労支援をワンストップで実施することで、利用者の利便性の向上も実現。

## (1) 実施体制

※「長崎県地域共同就職支援センター」での窓口相談に加え、同センターを拠点として離島・半島地域への巡回相談を実施

### 県

・所長1名、カウンセラー3名を配置

### 国

・職員1名 職業相談員5名を配置  
・求人情報提供端末5台、職業紹介端末6台を配置

## (2) 事業目標と取組状況(25年度)

	平成25年度事業目標	取組状況(平成25年10月末時点)
「長崎県共同就職支援センター」での窓口相談	◇相談件数 合計:3,800件以上 (職業相談員1人当たり:760件以上)	◇相談件数 4月~10月 4,356件
	◇就職件数 合計:550件以上 (職業相談員1人当たり:110件以上)	◇就職件数 4月~10月 407件
離島・半島地域への巡回相談	◇相談件数 合計:1,220件以上 (巡回相談1回当たり:20件以上)	◇相談件数 4月~10月:901件 (35回の巡回相談を実施)

# 一体的実施事業による就職成功例

女性：40歳代 希望職種：縫製工、軽作業員

## ① 抱える課題

- \* 父親の看病のため約8年間を病院・自宅で過ごし、現在は同居家族もなく、現在に至るまで人との交流が少ない。
- \* 相談は長時間に及ぶが、父親の病気・現状の説明が主であり、仕事探しの様子がない。職種の絞り込みができず、またインターネット検索を長時間続け、他の利用者に譲らない等、社会的マナーの確立が不十分である。
- \* 転職歴が多く、資格等もない。

## ② 支援内容・ポイント・経過

- \* ハローワークまでの距離が遠く、巡回相談を始めて職業相談に訪れた。
- \* 県の支援で長いブランク後の社会生活上の基本的マナーの支援及び模擬面接、履歴書・職務経歴書作成の指導を行う。
- \* 求職活動においては、適性、希望職種の絞り込みにより「縫製工」を希望職種と定め、希望求人が出た場合には応募できる準備を行うとともに、他職種についても探しながら機会があれば積極的に応募することもなども助言した。

## ③ 結果

- \* 紳士服製造の縫製工（正社員以外）採用
- \* 1日8時間程度

## ④ 職業相談員の所感

- \* 縫製工は少ない求人ながら、希望職種の意識付けができた後は、粘り強くチャンスをつかえることに専念した求職者自身の積極的な姿勢が、早期就職に繋がった。

女性：40歳代 希望職種：事務職

## ① 抱える課題

- \* 家庭内でのトラブルを抱えており、土・日・祝日休みを希望。
- \* 幼児がいるため、保育園の送迎があるため、地域が限られる。
- \* 事務職を希望しているが、経験・資格はない。

## ② 支援内容・ポイント・経過

- \* 幼児がいるため、遠距離であるハローワーク利用は難しく、近隣で行われる巡回相談で職業相談に訪れた。
- \* 県の就職支援セミナーに参加し、就職に向けての意識付け、選考に対する対処準備などの支援を行った。
- \* 家庭内での問題や就職に向けた課題等について、相談を重ねながら共有を図った。
- \* 巡回相談の際には、毎回相談に来ており、就職意欲は高い。
- \* フルタイム希望であったが、事務での経験・資格・自信がないことから、まずはパートから経験を積んで見ることの助言を行った。
- \* 本人のニーズに合う求人の情報提供を電話にて継続的に行った。

## ③ 結果

- \* 社労士事務所へパート事務職で採用になった。
- \* 1日4時間、週5日勤務、期間雇用。

## ④ 職業相談員の所感

- \* 本人は自立したいという気持ちは強かったが、何をどう動けばよいのか具体的な構想や展望もなく、焦りや不安を抱えていた。
- \* 相談を重ねるうちに就職意欲が高まり、不安が解消されていった。
- \* 育児と仕事を両立し就労しているが、いろいろ経験を積み、雇用期間終了後は、パートではなく、正社員の就職を目指す。
- \* 現在も就職支援での相談は、継続中である。